

えほんのおへや通信



2017年7月1日(土)発行 サンガこども園 ☎046-255-0148

7月2日は半夏生(はんげしょう)。この頃に降る雨を「半夏雨」(はんげあめ)といい、大雨になることが多いそうです。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」7月号の紹介。

<p>こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き</p> <p>「ピッピちゃん」 田村 ゆう子 作</p> <p>小鳥のピッピちゃんは、いつも楽しそう。「ぴっぴっぴ」と歌を歌って、「もぐもぐもぐ」とごはんを食べたら、「しゅっしゅっしゅっ」と尾羽のおそうじ。</p> 	<p>こどものとも 年少版 2～4歳向き</p> <p>「おおきくなってね」 ごんもり なつこ 作</p> <p>きゅうりの黄色い花。その先に小さな実がなっています。「ちいさな ちいさな きゅうりの あかちゃん おおきくなってね」。ほかにも、なす、ピーマン、すいかの花が実になる様子が描かれています。</p> 
<p>こどものとも 年中向き 4～5歳向き</p> <p>「たなのうえひこうじょう」 中村 至男 作</p> <p>本棚から、小さな飛行機が飛び立ちました。テーブルのうえを通り、ペン立ての鉛筆のあいだをすり抜け、やかんから吹き出る湯気をくぐり抜け、自由に飛び回ります。飛行機から眺めると……</p> 	<p>こどものとも 5～6歳向き</p> <p>「なむちんかむちん」 柳生 弦一郎 作</p> <p>なすびの子、かぼちゃの子、そらまめの子、とうがらしの子が遊んでいると、かぼちゃのぼあちゃんがやって来て「はやく おおきく なりたいか?」とたずねます。子どもたちが、「なりたい」と答えると……</p> 
<p>ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き</p> <p>「せみの こえ」 梶 真史文 かわしま はるこ 絵</p> <p>夏の陽ざしの中、せみの大きな声が聞こえてきます。ジリ ジリ ジリ、ニー ー、ミーン ミンミン ミー、シャア シャア シャア、オーシン ツクツク、ヂッ デッ デッ、ギイイイイ、キキキキキキ……。</p> 	<p>他にこんな絵本も購入しました。</p> <p>「こぐまちゃん ありがとう」 作：わかやま けん 0歳から</p>  <p>こぐま社</p> <p>こぐまちゃんはお手伝いをして、お父さんお母さんに「ありがとう」といわれます。こぐまちゃんが迷子になったとき助けてくれたおじさんに今度は自分から「ありがとう」と言います。</p>  <p>シンプルな形、明るく印象的な色、幼児の生活の中からテーマをとった親しみやすいストーリーです。世代をこえて圧倒的的支持を受けるロングセラー絵本です。</p> <p>※年齢は目安です。</p>
<p>【雑感】</p> <p>最近の風潮として「今の親は子どもの欲求を後回しにして、自分たちの欲望ばかりを考えている。」と良く言われます。必ずしもそうではないと思いますが、幼い子どもは全面的に家族や身近な大人に依存しなければ生きていくことができません。親としての心構えの第一はまずそういうことを自覚することではないかと思えます。そして愛情を持って子どもたちの欲求を満たしてあげることだと思います。</p> 	